



— 島根県教職員組合機関紙 —

発行所 松江市母衣町 55 教育会館内 島根県教職員組合 TEL 0852 (21) 2767 FAX 0852 (24) 5280
購読料 1 か月 200 円 (郵送料共・組合員は組合費に含む) 発行人 島根県教職員組合 代表者 小松雪乃 編集人 猪俣邦顕

2022.1 月号外

高校教研特集

第 2 号

【教育講座】

学び合いが子どもとクラスを変える！

～協同学習の理論と実践～

第66回島根県高校教育研究集会

高校教研実行委員会では、2月19日に会場とオンライン併用での教研の開催をめざして準備をしてきましたが、完全オンラインの開催か中止もやむなしの状況になっています。講師の江利川春雄先生には、場合によっては和歌山からオンラインでの講座になることも了承していただいています。最終的には2月11日の実行委員会で決定いたします。夕食交流会は中止します。レポート発表も決まりましたので、不確かな状況ではありますが参加者の申し込みを受け付けます。(高校以外の方も参加 OK です。)

＜と き＞ 2022 年 2 月 19 日 (土) 13:00～16:30

＜ところ＞ サンラポーむらくも (八雲の間)

※コロナ感染状況により、場所の変更や中止もあります

＜日 程＞ ・受 付 (12:30～13:00)
・開会行事 (13:00～13:10)
・教育講座 (13:10～15:10)
・レポート (15:20～16:20) ※江利川先生も参加されます
・閉会行事 (16:20～16:30)

＜参加費＞ 無料 (県教組高校部の組合員は旅費・宿泊費の補助があります)

＜申込み＞ 2 月 9 日 (水) までに申込書(この用紙)を FAX してください。
オンライン参加者の方には入室方法と資料を事前に送ります。

＜教育講座＞



講 師：江利川春雄先生 (和歌山学部教育学部名誉教授)

内 容：1 時間半程度の講演をしていただき、学校現場の実践交流を予定しています。

高校でも来年度から新指導要領の本格実施がはじまります。協同学習を取り入れた授業が子どもとクラスを変えていきます。

理論だけではなく具体的にどのようにしたらよいか、会場でも学び合いながら講座をすすめていこうと思っています。

＜レポート発表 1＞ 「ジグソー法を用いた英語の協同学習授業」

発表者：竹田 育子 (隠岐島前高校)

内 容：1 つの事柄に対して、異なった視点を持つ複数の意見を尊重し、それぞれの思いを包括した 最善の解決策を導き出すという課題を、ジグソー法を用いて行った授業実践を報告します。

＜レポート発表 2＞ 「出前授業の教材づくり
～工業科のプログラミング学習のすすめ方～」

発表者：三明 晃信 (益田翔陽高校)

内 容：工業科の課題研究の中で、生徒に教材作りと授業作りをさせることを通して、地域のニーズに応えられる技術力向上と、地域貢献する態度の育成を目指した実践を発表します。

参加申込書(FAX0852-24-5280)

下表に記入 (参加は○) し、2 月 9 日 (水) までに FAX してください。

学校・所属	氏名	連絡先	会場で参加	オンライン参加

お問い合わせは、県教組 (Tel0852-21-2767) 猪俣までお願いします。

講師 PROFILE

江利川 春雄

- (えりかわ はるお、1956 年-) 現在、和歌山大学名誉教授
神戸大学大学院教育学研究科修了。博士(教育学)。専攻は英語教育学、教員養成、協同学習論。現在、日本英語教育史学会会長、神戸英語教育学会名誉会長など。「学びの共同体」研究会のスーパーバイザーでもあり、協同学習を核とした授業改善のために全国の学校や研究会などを訪問している。
- 主な著書等
『日本の外国語教育政策史』(2018)
『英語教育史重要文献集成 全 15 巻』(2017~19)
『協同学習を取り入れた英語授業のすすめ』(2012)
DVD 版『アクティブ・ラーニングによる協同的な英語授業づくり』(2016)
など。

大変勉強になりました。また、大いに刺激をいただきました。江利川先生のお話から、自分が授業の質を高めていくにあたり、何を前提とし、意識して努力していくべきなのかという根本的なところに気づかせていただいたように思います。自分自身も楽しみながら授業改革を行っていきたいと思います。次回を既にとっても楽しみにしています。



昨年の隠岐講座(10月24日)の様子

教師は教える人、生徒は教わる人。この常識がいま、くつつがえりつつあります。各地の教室で、学習者同士が小グループで仲よく学び合い、ともに高め合う協同学習が取り入れられ、めざましい成果をあげているのです。



「協同学習ははじめの一步」

- ① いつもの生徒指導と一緒に。まずは聴くことから。
- ② 支え合いが大事。安心と信頼の関係づくりを授業の中で。
- ③ 短い説明。テンポのいい進行で集中を。
ルーティンで安心感を。
- ④ 無理に話し合い(=班学習)をさせようとする。聴き合いをさせる。
- ⑤ ペアや班に生徒を縛り付けない。
- ⑥ 協同が始まったら、生徒の邪魔をしない。

生徒を最大限に生かす授業をデザインしていきたいと思いました。「どれだけ生徒が主体的に取り組める授業設計を教員がしたか」この言葉に納得しました。協同学習の際に生徒の学びを邪魔しないように黙っていようと思いました。これが私にとってチャレンジです。